

第8回ベトナム人留学生蕎麦打ち体験会

～ 外国人のための Eating education ～



江戸ソバリエルシク 畑貞則

2016年7月31日(日)、ベトナム人留学生そば打ち体験会が新宿区角筈地域センターで開催された。東京大江戸ライオンズクラブが主催、在日ベトナム学生青年協会が共催。参加者はベトナム人留学生35名と、夏期休暇ホームステイ中のモンゴル国際経済大の学生5名の計40名。われわれ江戸ソバリエ5名が指導にあたる。

簡単に蕎麦の作り方や食べ方の話、続いてデモ蕎麦打ちのあと、5組に分かれて各々700gの蕎麦打ちに挑戦して貰う。

皆さん、「水回しが楽しい」と歓声を上げ、「延しが変形してしまった」と言っては大笑い、続いて真剣な蕎麦切り、「これは上手くいった」と自分で拍手。最後に、茹でて試食し、「オイシイ!」と満面の笑顔。

結婚のため、8月で帰国するというある女子学生は「すごく楽しい思い出ができた」と大喜び。

留学生は留学先の国の文化を学び、そしてその国のことを好きになってくれる。しかしながら、毎日の生活における最も大事な衣食住については、その道を選ばないかぎり、案外学ぶことは少ない。そこに、NPOなどに所属しているボランティアの人たちの役割があると思う。

とくに外国人のための Eating education(食育)の、そのうちの Soba では、私たち江戸ソバリエの出番である。

喜んでいた彼女はベトナムに帰って、結婚しても、今日体験した日本のお蕎麦の作り方、食べ方や、香りや味を忘れないだろう。

そこに私たちのやり甲斐と喜びがある。また来年もぜひ役に立ちたい。

